

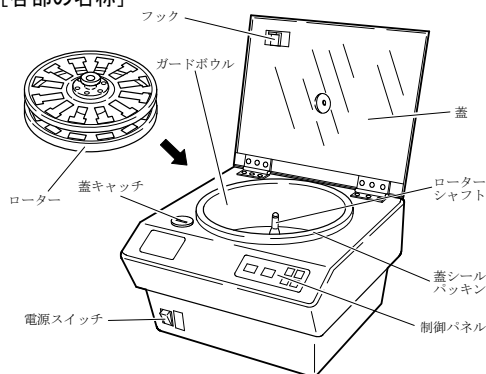
器 2 6 医療用遠心ちんでん器
*一般医療機器 細胞用遠心機 JMDNコード 35881000

サイト・テック セントリフュージ

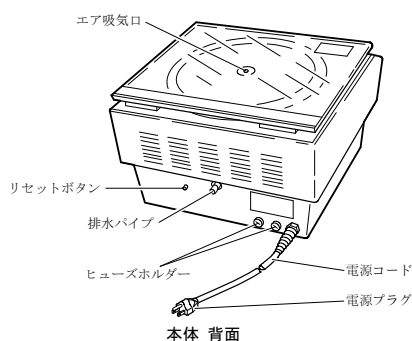
*EMC適合

【形状・構造及び原理等】

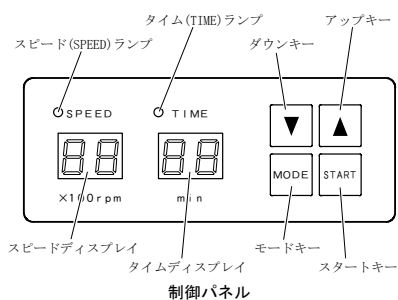
【各部の名称】



本体 正面



本体 背面



制御パネル

【作動・動作原理】

検体(液体)を入れたチャンバーをローターにセットし、それをローターシャフトにセットする。ローターを高速で回転させることにより、遠心力で液体内の細胞を分離し、スライドガラス面に収集する。ローターの回転数と(処理)時間を設定できる。

蓋が開いているときは運転をスタートできず、ローターが回転している間は蓋がロックされ不用意に開かれるのを防ぐ。また装置に異常が発生した場合は、ブザーとディスプレイへの表示で報知する。

【仕様等】

型式：CF-12D

本体寸法：360(W)×380(D)×230(H) mm

本体質量：14.5 kg

検体処理数：最大12スライド

スピード設定：500～2500 rpm

時間設定：1～60 min

電気の定格

電 圧：AC100V±10%

周 波 数：50/60Hz±1Hz

消費電力：140VA

【設置環境】

- ・温度 10～40℃
- ・湿度 30～85%RH（結露なきこと）
- ・大気圧 70～106kPa

【使用目的又は効果】**,*

病理学や臨床病理学で行われる組織学的研究及び検査において、細胞診に必要な組織塗抹標本を作製するための細胞用遠心機（自動細胞収集装置）

【使用方法等】

【必要とする設備】

電源容量：2A以上

接地端子：D種以上

【使用方法】

以下の手順の詳細は取扱操作説明書の「4. 操作方法」をご参照ください。

- ① チャンバーを組み立てて、検体を入れる。
- ② チャンバーをローターにセットする。
- ③ 蓋を開き、ローターをローターシャフトにセットして蓋を閉じる。
- ④ 電源スイッチをONにする。
- ⑤ 回転数、運転時間を確認(設定)して、スタートキーを押す。

運転が開始されます。運転が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。

- ⑥ ローターが停止したら、電源スイッチをOFFにする。
- ⑦ 蓋を開き、ローターを装置から取り出す。

【使用上の注意】

取扱操作説明書の「6. 日常のご注意とお願い」も併せてご参照ください。

- ・ローターの回転中に蓋を開かない。
- ・ローター回転中は、装置の移動を行わない。
- ・エア吸気口から物を入れない。
- ・蓋キャッチ孔、背面の放射孔に物を差し込まない。
- ・チャンバーはバランス良くローターにセットする。
- ・異常振動が発生したら電源を切る。

取扱操作説明書を必ずご参照ください。

- ・消毒液は5%ヒビテン液を使用する。
- ・チャンパーの洗浄には40℃以下の水を使用する。
- ・チャンパーはオートクレーブで滅菌できない。
- ・ローターシャフト、ブラケットテーパー穴は常にきれいにしておく。
- ・ローターシャフトを叩いたり、強い力を加えたりしない。
- ・蓋の開閉の際、隙間に手を挟まないよう注意する。
- ・薬液は注意して取り扱う。
- ・装置周辺は通風・換気を良くする。
- ・お手入れの際は電源を切る。
- ・電源プラグは接地端子付コンセントに接続する、または接地アダプターなどで必ず接地を行なうこと。
- ・異常動作時は電源を切った後、電源プラグをコンセントから抜く。
- ・装置上には物を置かない。
- ・放射孔をふさがない。
- ・消耗品は指定品を使用する。
- ・装置の定期点検を6ヶ月ごとに行なう。
- ・装置の周囲で紫外線殺菌灯を使用しない。

【保管方法及び有効期間等】

**【耐用期間】

耐用期間：製造出荷後 8年[自己認証(当社データ)による]
 条件：取扱説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項
 あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に
 日常点検・保守点検を実施すること。
 点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守
 点検事項に記載された交換部品を適切に交換するこ
 と。保守に用いる主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
制御基板	5年
駆動部	8年
駆動部シールリング	2年

※ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の
 使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満た
 した場合での平均的な年数となるため、使用環境、使
 用方法などにより異なります。

【保守・点検に係る事項】

【使用者による保守点検事項】

詳細は取扱操作説明書の「6. 日常のご注意とお願い」をご
 参照ください。

- ・ チャンパー
 使用後、チャンパー、チャンパーホルダー、キャ
 ップは、水または消毒液で洗浄する。
- ・ 排液タンク
 毎日、使用終了の際に排液タンクを調べ、液量が
 タンクの半分に達していたら、中の液を廃棄して新
 たに消毒液を入れる。
- ・ ガードボウル
 時々、中性洗剤、消毒液、水を使用して布で清掃
 する。
- ・ ローター
 使用後、消毒液、中性洗剤、水を使用して殺菌・
 洗浄する。蒸気滅菌(121℃)することもできる。

【業者による保守点検事項】

- ・ シールリング
 6ヶ月に1回、シールリング面にグリースを塗る。
 2年間(1日1時間使用)または500時間使用した
 ら、シールリングを交換する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名 称：サクラ精機株式会社
 電話番号：026-272-8381

製造業者

名 称：サクラ精機株式会社 長野本社工場

販売業者

名 称：サクラファインテックジャパン株式会社
 住 所：東京都中央区日本橋本町3-1-9
 電話番号：03-5643-2630 (営業窓口)
 機器の故障に関するお問合せ先：0120-392-874
 (フリーダイヤル)